

1 活動名

特別活動／生徒会リモート交流会

2 対象

高等部 1・2・3学年 (相手校 山元支援学校)

3 内容と取組の様子

- ・他校で生徒会の役員として活動する仲間に興味を持っていた。
- ・他校で生徒会の役員と交流をすることを楽しみにしていた。
- ・リモートによる交流会に楽しんで参加していた。
- ・(相手校) 中学部にも生徒会役員がいることに感心していた。

**4 使用したツール(システム・アプリ・ソフト・教材等)**

タブレット端末、プロジェクター、アプリ (GoogleMeet)、ホワイトボード

5 おすすめポイント

- ・リモート交流を通してコミュニケーションツールの種類や利用方法などの特徴を知ることができる。
- ・構造化したシンキングツールを使用することで、限られた時間の中で、どのようなゲームを行うかを考え、交流活動の内容を計画することができる。

6 さらに工夫したいこと

- ・通信機材や、通信方法など安定した通信ができるためのツールや方法を考え実践していく必要がある。